

## 馬場元二先生古稀記念号に寄せて

札幌大学経済学会会長

水野五郎

馬場元二先生は、1990年2月11日をもってめでたく古稀のおよろこびを迎えられ、同年3月末、22年にわたる札幌大学経済学部教授ならびに再度にわたる札幌大学学長の職を退かれました。

馬場先生は福岡県八女市のご出身で、横浜専門学校をご卒業後、満鉄調査部に勤務、第二次大戦中の軍隊時代を経て、戦後、九州大学経済学部、同大学院で研鑽を積まれ、久留米大学、市邨学園短大、九州共立大学に勤務されたのち、1968年10月、開学後間もない札幌大学経済学部の経済原論担当教授に就任されました。しかし、開学早々に本学を見舞った経営的危機は、先生をして、教育と研究に専念されることを許さず、多大の労力と時間を先生から奪う結果になりました。このことは恐らく先生のご本意ではなかったと思われませんが、この経営的危機に当って、先生が理事長代理として、あるいは前後二回にわたる学長として、経営の安定と、その後の発展の基盤整備に傾けられたご努力は、まことに多大なものがあり、先生の本学における足跡は本学の苦闘と発展の歴史そのものと言っても過言でないと思います。

このような大学経営面での激務に多大の時間と労力をさかれながらも、先生は、その本領とも言うべき、経済学研究の道をたゆみなく追求されました。その成果は別掲の研究業績一覧にみられる通りであります。いずれも経済学の理論体系における基本的問題にかかわるものであり、これらの理論的成果を通じて、学内外の後進研究者に多大の啓発を与えられました。最近の先生は、多年にわたる激務から解放され、これまでの研究の集大成に専念され

ておられ、近々、刊行の運びと伺っております。

札幌大学経済学会は、馬場先生の長年にわたるご功績に対して、心からなる敬意と感謝をこめて、ここに先生の古稀記念号を編纂いたしました。この記念号には、学内のみならず、学外からも多くの方々が、御多忙にもかかわらず論文をお寄せ下さいました。心からお礼申し上げます。

先生には、今後ともご健康を保たれ、私共後進をご指導下さいますようお願いしつつ、あわせて、先生ならびに御家族がいつまでも平安でありますよう祈念いたします。